

## 講演会型+学校行事参加型(小学校)

学校名等	関市立田原小学校
実施日時	令和6年6月21日(金)
会場	関市立田原小学校
参加人数	6年生児童45人とその保護者
学習課題(分野)	認知症サポーター養成講座 ～親子で認知症について共に学び、共に考える～
運営者の願い	関市高齢福祉課が主催する「認知症サポーター養成講座」を親子で受講することで、家庭内にも話題が広がり、より深く学べることを願って、参観日に合わせて家庭教育学級を計画した。
学習の内容	

## &lt;開催までの経緯&gt;

田原小学校6年生は、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに学習しており「周りの人がよりよい暮らしができるように」「みんなが幸せに暮らせる社会をつくるために」を目指して自分たちができることに取り組んでいる。

グループに分かれて、認知症の方や高齢者の方との接し方について考える時間も設けてさらに学びが深まるようにした。

## &lt;当日の様子&gt;



## (1) 認知症についての学習会

認知症の方への接し方のポイントは「驚かせない」「急がせない」「プライドを傷つけない」の3点が大切。

「認知症の方と接する時は笑顔が大切です。笑顔で優しく話を聞いてあげてください。」

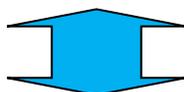
## (2) グループ別交流会

「高齢者の方がスーパーマーケットのセルフレジのところで困っていらっしゃいます。あなたならどうしますか？」をテーマにグループごとに実践交流をした。



## &lt;親子の感想&gt;

「グループのみんなと話し合ったり、実際に高齢者や認知症の方にどう接したらいいのかやってみたりして、母と一緒に学ぶことができたので良かったです。私にも高齢の祖母がいるので、学んだことを家族全員に伝えようと思いました。」【児童】



「これからも、おばあちゃんと一緒にサポートしていこうね。認知症の方が困っていらっしゃるのを見かけたら、助けてあげようね。」【保護者】



多くの保護者に参加いただけるよう参観日に合わせて開催

一人でも多くの保護者に参加いただけるように、学校行事の参観日にあわせて家庭教育学級を開催しました。



子どもたちの学習に合わせた内容で、保護者と共に学べる題材を選択

子どもたちは、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに学習しています。今回、「認知症サポーター講座」を保護者と子どもたちが共に受講することで、お互いの学びがより深まるのではないかと考えました。

また、家庭でのコミュニケーションを深めることにつながりました。



講演会後に、グループ別交流会や、地域の施設訪問を通して、学びの幅を広げ実践につなげる

講演会後にグループ別交流会を設けたり、後日、地域のグループホームや多機能型施設を訪問して高齢者との交流を行ったりすることで、より学びが広がり、日々の実践に結びつけることができました。